



季節の生き物

マテバシイと小さな虫たち

6月。「梅雨」とよばれるこの季節は、雨がたくさん降り、野外観察やアウトドア好きの方には残念な天気となりがちです。そんなときには、ぜひ彩湖自然学習センターにお越しください。1階の魚類の展示や5階の展望室など、雨でも室内で楽しめることと思います。

さて、この時期おもしろいのがセンター入り口にあるマテバシイ。ちょっと立ち止まって、顔を近づけてよく観てみてください。

細長い白いブラシのようなものがいっぱい。これがマテバシイの花です。サクラのような花びらがないので目立ちませんが、ちゃんと花を咲かせているのです。花の上は花粉をもとめてやってきた虫たちで大賑わい。虫たちの行動をじっくり観察できます。



マテバシイの花。花粉は虫たちのごちそう。いろんな虫がやってきます。

もっと近づいて見ると、奥の方に緑色のドングリの赤ちゃんが。今年の秋に実るドングリです。クヌギやマテバシイなどは2年かけて種子（ドングリ）を作ります。今咲いている花からドングリが実るのは来年の秋なのです。

さらによく見てみましょう。わっ、アブラムシがいっぱい。気持ち悪〜いと言わず、じっと観察。すると、近くにいるアリがテントウムシを追い払っていることに気づきませんか？アリはアブラムシがお尻から出す甘い汁をもらうために、アブラムシを食べにきたテントウムシを追い払うのです。こん虫の世界もギブ&テイクなのですね。葉の裏側にヒモのようなものが何本もぶら下がっていたら、それはクサカゲロウの卵かも。優曇華の花とも呼ばれます。

秋になるとセンターではマテバシイのドングリをたくさん拾います。何日か冷凍したら乾かして、クリスマスリースの飾りやキーホルダー作りに使います。そうそう、去年はフライパンで煎って食べてみました。味は…センターの職員に聞いてくださいね (A)。



マテバシイのドングリ

講座案内 (7月)

7月12日(日) ※雨天実施

「昆虫ウォッチング：夏」

木かげや草むらをのぞくとトンボやバッタ、セミなど虫たちの様子を観察することができます。講師の先生と一緒に夏の昆虫を観察してみませんか。

◇対象：どなたでも (小学2以下保護者同伴)

◇定員：30名

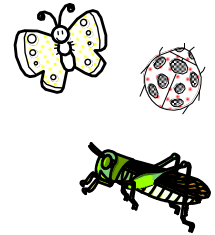
◇時間：10:00～12:00

◇持ち物：ぼうし、タオル、動きやすい服装(長そで、長ズボン)
飲み物、虫とりあみ、虫かご(貸し出し可)

◇参加費：100円(保険代を含む)

※採集した昆虫は、観察ののち、もとの場所へ返します。

※日陰がほとんどありません。暑さ対策をしっかりとってお越しく下さい。



★申込方法：彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください(申し込みは代理の方でも結構です)。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。

なお、申込みは講座の1か月前から受け付けています。Tel:048-422-9991

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)をご覧ください。

7月26日(日) ※雨天実施

生き物を育てよう「スズムシ配布」

毎年恒例のスズムシ配布。今年もセンターで大切に育てたスズムシを、皆さまにお分けします！

半月ほど育てていただくと、立派な大人スズムシになり、オスはリーンリーン♪とよい音色を聞かせてくれますよ。飼育ケースを持ってお集まりください。

◇対象：責任を持ってスズムシを飼育できる方

◇定員：先着100家族(一家族1セット配布します)

◇時間：13:30～14:30 4階学習室で配布(なくなり次第終了)

◇持ち物：飼育ケース(土を入れたもの、ビニール袋は不可)

◇参加費：無料

※事前の申込みは行っておりません。当日直接お越しく下さい。

※なくなり次第終了いたします。御了承願います。

